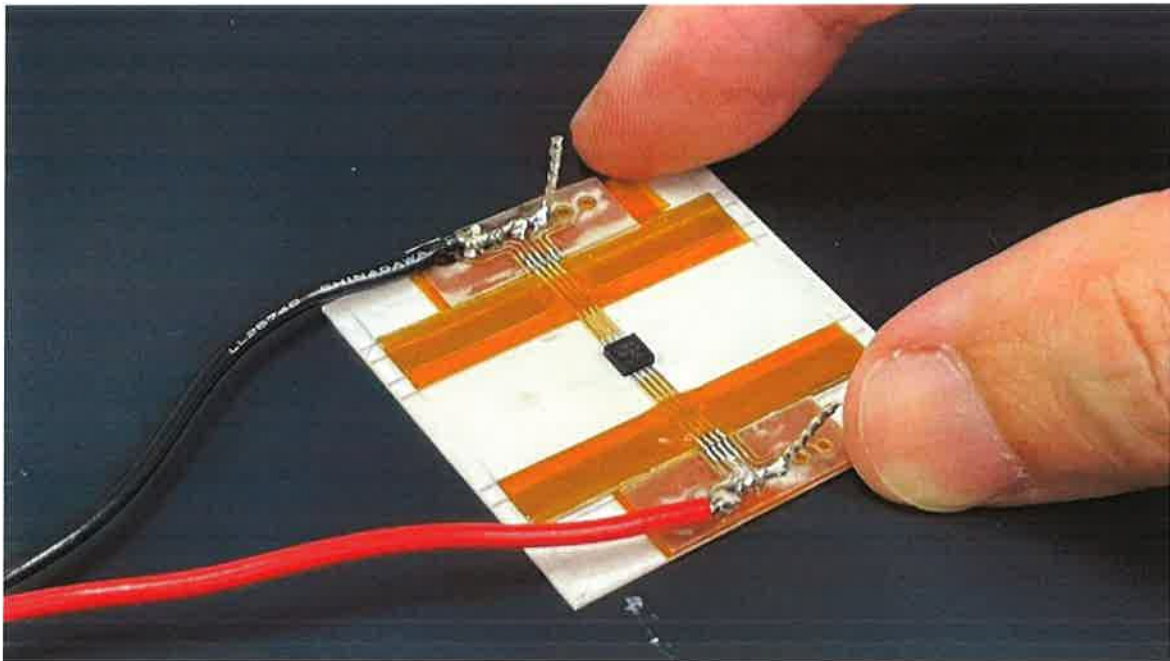


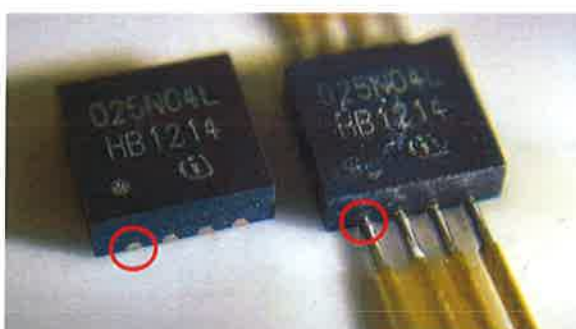
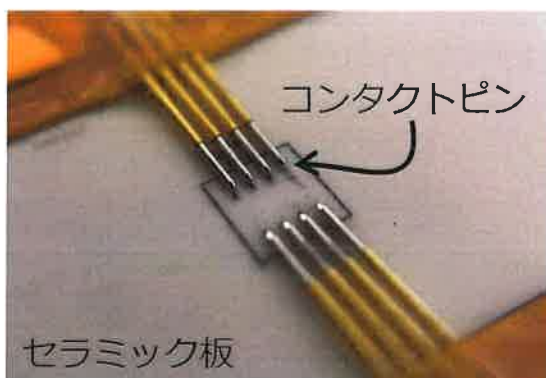
# 小型PKG 単品熱評価用治具

## ～ 基板に実装せずに単体での測定が可能に ～

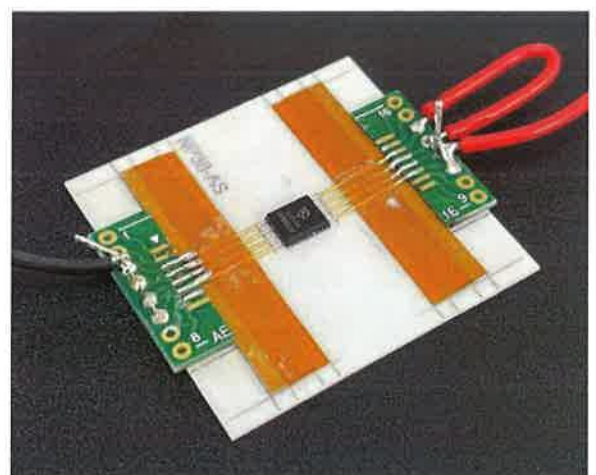
QFNなど端子のない小型PKGの評価は基板に実装して行うのが通例です。電気的な評価はこの方法で問題ありません。しかし、熱評価の視点では実装された基板と一体化してしまい、T3STERで構造関数を算出しても、PKG内部の特定が困難（不可能）でした。本治具を用いると、PKGの界面を特定できます。



リードレスパッケージ S308 (3.2 x 3.2mm) 用治具



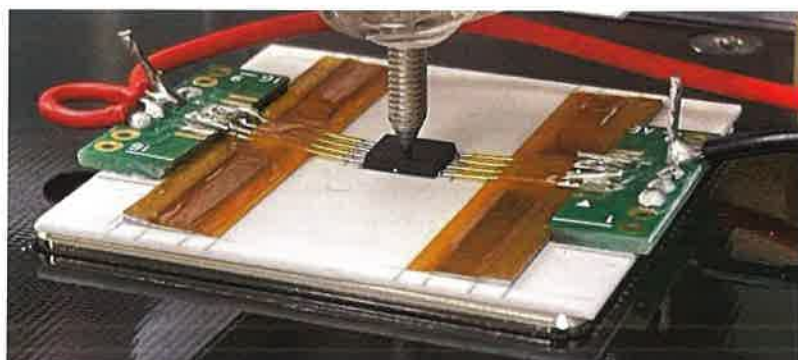
側面に露出した W0.24, H0.2mm の電極に  
コンタクトし、Max 1A/pin まで流せます



SON-8 (5.7 x 4.8mm) 用治具  
この大きさなら Max 2A/pin までOK

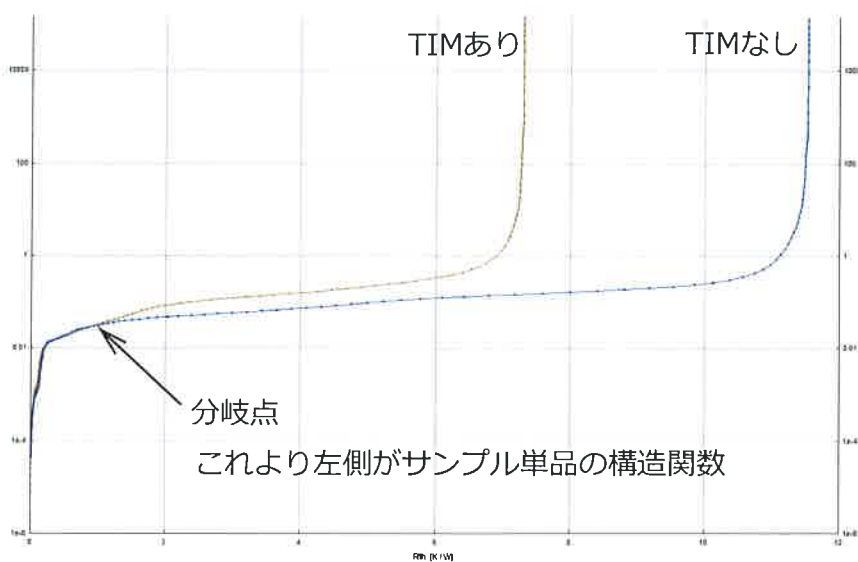
さまざまなリードレスパッケージに  
対応可能です

# 測定方法



温調ステージ上に、サンプルを設置した治具を載せ、加圧治具で荷重を管理して押し付けます。ドライ（TIMなし）とTIMありで過渡熱抵抗を測定し、構造関数を比較することでサンプル単品の熱抵抗を特定します。

## 構造関数の例



キーナデザイン株式会社

〒207-0021

東京都東大和市立野3-1344-12

Mail : info@keenus.jp

TEL: 042-516-8604 FAX: 042-516-8605

